

課題名	131 大ヨークシャー種系統豚の組合せ検定	分類	②					
	異品種系統間交雑による繁殖・産肉性能調査							
試験研究年次	60～4年（継続）							
<b>I 目的</b>								
当場で系統造成中の大ヨークシャー種（雌系）に交配する最適なランドレース種（雄系）との系統間組合せについて、繁殖性及び産肉性の面から検討し、高品質銘柄豚の母豚となる一代雑種種雌豚を作出する。								
<b>II 試験方法</b>								
1 供試豚	<p>雌系：大ヨークシャー種（W） 当場系統 第3世代2産次 35頭            雄系：ランドレース種 （L 1） 宮崎県系統 ハマユール 2頭            " (L 2) 熊本県系統 第5世代 2頭            " (L 3) 東京都系統 エド 2頭            " (L 4) 山口県系統 アキヨシ 2頭</p>							
2 試験期間	平成 1年 3月（交配開始）～平成 2年 4月（試験終了）							
3 飼養管理	<p>供試母豚：4頭群飼、種付け 1発情 1回。            産子（WL）：生後21日齢離乳、肥育期は4頭群飼、産肉能力検定飼料を不断給餌。</p>							
4 調査項目	<p>繁殖性：産子数、哺乳頭数、生時体重、離乳頭数、離乳時一腹総体重、育成率。            産肉性：105kg時日齢、1日増体量（30kg～105kg）、背腰長Ⅱ、背脂肪厚（肩・背・腰の3部位平均）、ロース断面積、ハムの割合。            肉質：pH、P C S（ポーカーラスター）、加圧保水力、伸展率、水分含量、脂肪融点。</p>							
<b>III 主要成果の概要</b>								
今回の試験に供試したランドレース種雄4系統のうち、当場の大ヨークシャー種雌系統との組合せで相対的に優れていたのは、山口県系統のアキヨシであった。								
1 繁殖性	W×L 4の組合せが、一腹平均産子数13.6頭と、他のLとの組合せと比較して有意に多かった。また、離乳時体重は小さいものの離乳頭数は10.2頭で一腹総体重も51.3kgと最も良い成績であった。							
2 産肉性	1日増体量は、4組合せとも良好で、特に、WL 1・WL 2が 854.1g・845.3gと他の区に比べて高く、背脂肪の厚さは、WL 4が最も薄かった。							
3 肉質	肉色はWL 3とWL 4で濃く、加工適正を示す保水力はWL 2以外で良好であった。伸展率はWL 2が高く、胃脂肪融点はWL 4が高かった。その他の形質については差が見られなかった。							

IV 主要成果の具体的データ

第1表 組合せ検定における繁殖成績

区分	例数	産子数 (頭)	哺乳頭数 (頭)	生時体重 (kg)	離乳頭数 (頭)	離乳時一腹 総体重(kg)	育成率 (%)
W×L 1	10	8.6±2.7 <sup>a</sup>	8.4±2.8	1.5±0.1	7.8±2.6	45.8±12.4	93.6±11.1
W×L 2	10	9.6±3.3 <sup>b</sup>	9.1±2.9	1.4±0.2	7.9±2.3	39.3±12.5	88.1±13.3
W×L 3	10	9.2±2.2 <sup>a</sup>	9.1±2.1	1.5±0.2	8.0±1.8	44.0±9.8	89.1±11.0
W×L 4	5	13.6±1.2 <sup>a</sup>	12.0±0.6	1.3±0.2	10.2±1.2	51.3±7.0	84.9±8.3
W×W <sup>1)</sup>	51	10.0±2.7	9.6±2.7	1.2±0.2	8.1±2.9	41.3±13.8	84.1±23.5

注) ① 平均値±標準偏差

② A-B間に1%の水準で、a-b間に5%の水準で有意差あり

③ <sup>1)</sup>当場系統第3世代1産次(W×W)の成績

第2表 WLの産肉成績

区分	105kg時日齢 (日)	1日増体量 (g)	背腰長II (cm)	背脂肪厚 (cm)	D-S断面積 (cm <sup>2</sup> )	ハムの割合 (%)
WL 1	161.0±10.9	854.1±75.7	69.8±1.7	3.13±0.24	20.5±1.9	31.0±1.6
WL 2	158.7±8.7	845.3±71.0	69.0±1.7	3.40±0.30	19.9±2.7	32.1±1.6
WL 3	160.6±10.3	807.0±81.1	68.3±1.5	3.09±0.46	19.8±2.5	32.1±1.7
WL 4	165.1±13.8	803.6±124.4	69.2±1.8	2.95±0.31	20.4±2.2	31.9±1.3
W <sup>1)</sup>	190.5±20.3	665.3±20.3	67.8±2.0	3.06±0.44	22.3±2.1	31.8±0.8

注) ① 各区 8頭の平均値±標準偏差

② <sup>1)</sup>当場系統第2世代2産次の産子(W)の成績

第3表 WLの肉質

区分	p H	P C S	加圧保水力 (%)	伸展率 (cm <sup>2</sup> /g)	水分含量 (%)	腎脂肪融点 (℃)
WL 1	5.49	3.75	79.1	19.2	74.0	39.6
WL 2	5.57	3.69	73.1	23.5	74.0	40.6
WL 3	5.55	4.44	82.0	19.6	73.5	39.6
WL 4	5.55	4.31	78.7	19.0	74.2	41.7
W <sup>1)</sup>	5.58	3.35	75.8	25.7	74.4	43.5
L <sup>2)</sup>	5.55	3.00	73.6	24.7	74.4	42.9

注) ① 各区 4頭の平均値

② <sup>1,2)</sup>各品種の標準値

V 成果の評価と取扱上の留意点

高品質銘柄豚の母豚となる一代雑種種雌豚作出用のランドレース種系統豚(雄系)選定の参考資料とする。

VI 今後の研究上の問題点

他ランドレース種雄豚との系統間組合せによる検討。

VII 資料名